

1 - GerbView の使い方

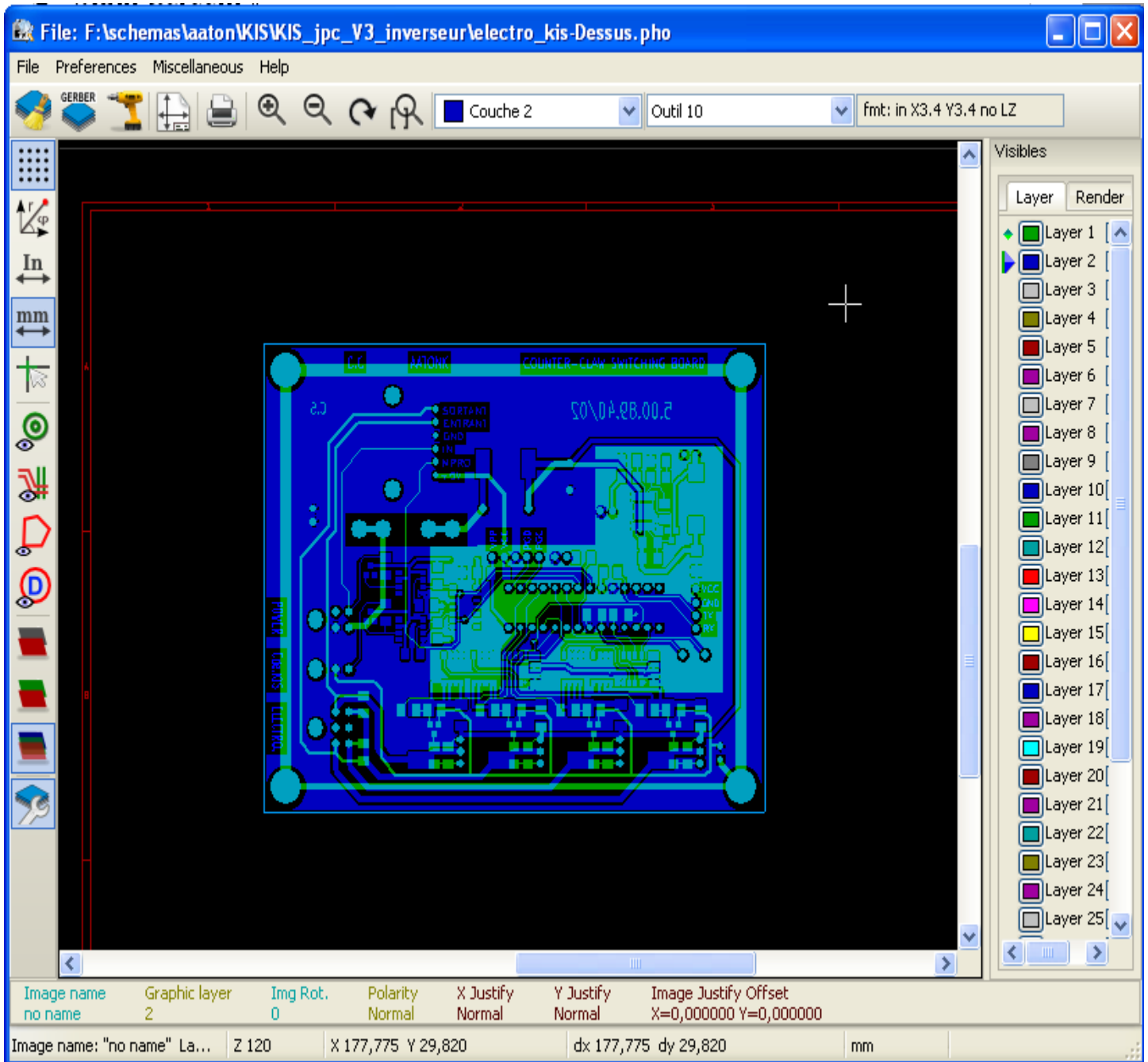
1.1 - GerbView の紹介

GerbView は、ガーバーファイル (RS 274 Xフォーマット)のビューアであり、Pcbnew で作成したドリルファイル (Excellon フォーマット)も表示することができます。

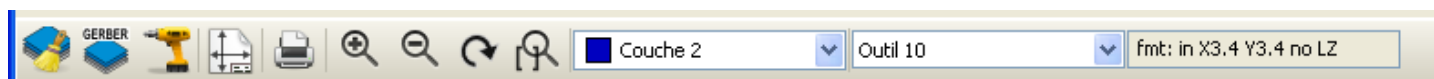
32個のファイル (ガーバーファイル あるいは ドリルファイル)まで読み込むことができます。






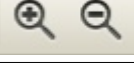


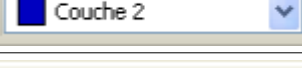

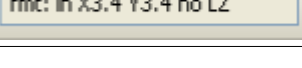
ファイルは透過モードあるいはスタックモードを使って表示されます。

1.2 - メイン画面:












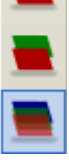

1.3 - 上部のツールバー:



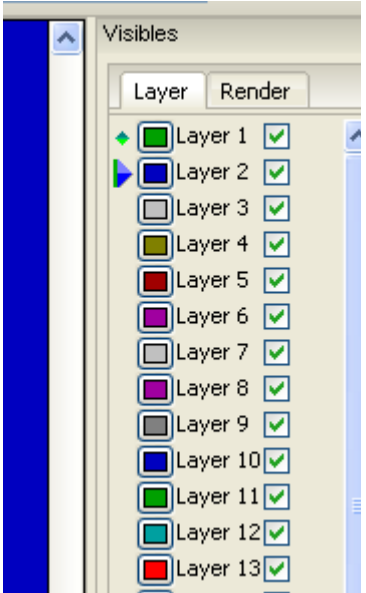
	全てのレイヤーをクリア。
	ガーバーファイルの読み込み。
	ドリルファイル(Pcbnew で作成した Excellon フォーマット)の読み込み。
	プリント用のページサイズ、ページ制限の表示／非表示を設定。
	プリントダイアログを開く。
	ズームイン・アウト。
	画面を再描画。
	ページにズームを合わせる。
	レイヤーを選択。
	D コードを選択 (D コードを使用したアイテムがハイライトされます)。
	現在のレイヤーに読み込まれたガーバーファイルオプションの情報を表示。

1.4 - 左ツールバー:


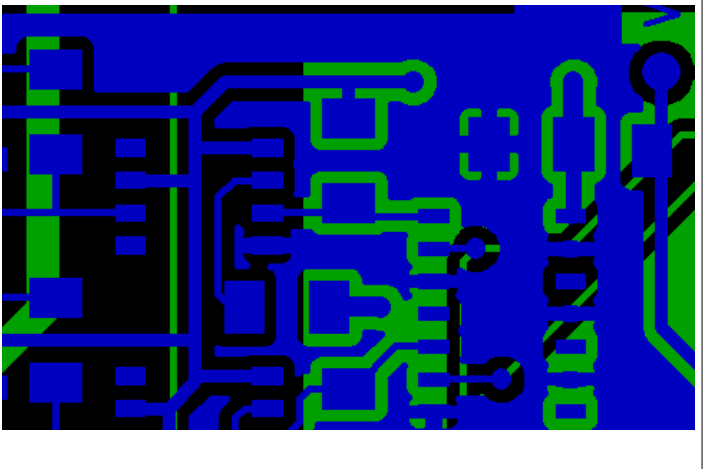

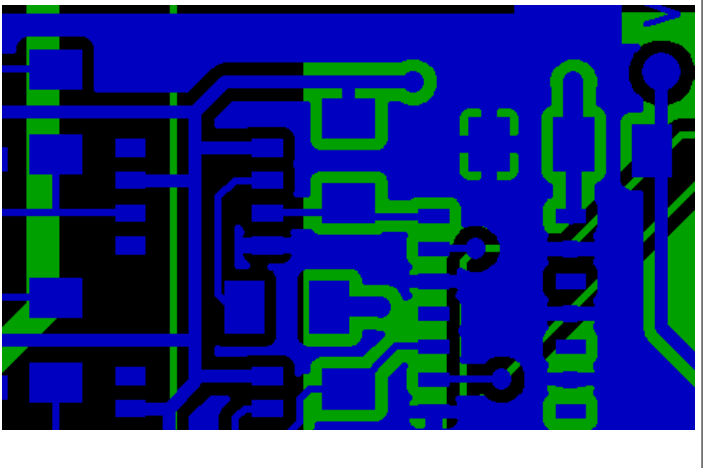

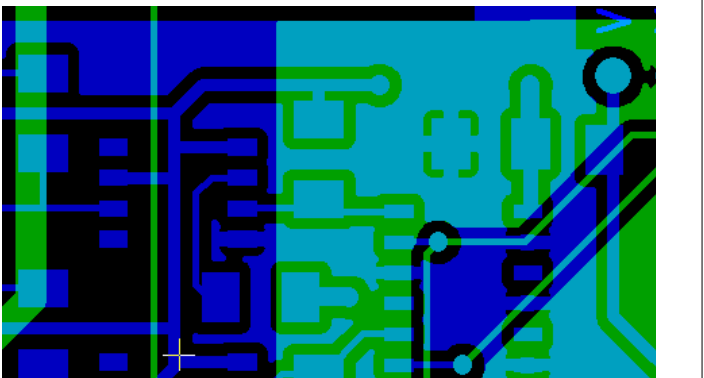
1.4.1 - オプション:

	グリッドのオン / オフ。
	極座標表示のオン / オフ。
	座標表示の単位選択。
	
	グリッド上のカーソル形状の選択。
	flashed items の表示モード選択 (塗りつぶしか外形のみ表示)。
	線の表示モード選択 (塗りつぶしか外形のみ表示)。
	ポリゴンの表示モードの選択(塗りつぶしか外形のみ表示)。
	D コード値の表示/非表示 (D コードを使用したアイテムのみ)。
	レイヤーを表示するため、Gerbview により使用されるモード。
	レイヤーマネージャを表示/非表示。

1.4.2 - レイヤーマネージャ:

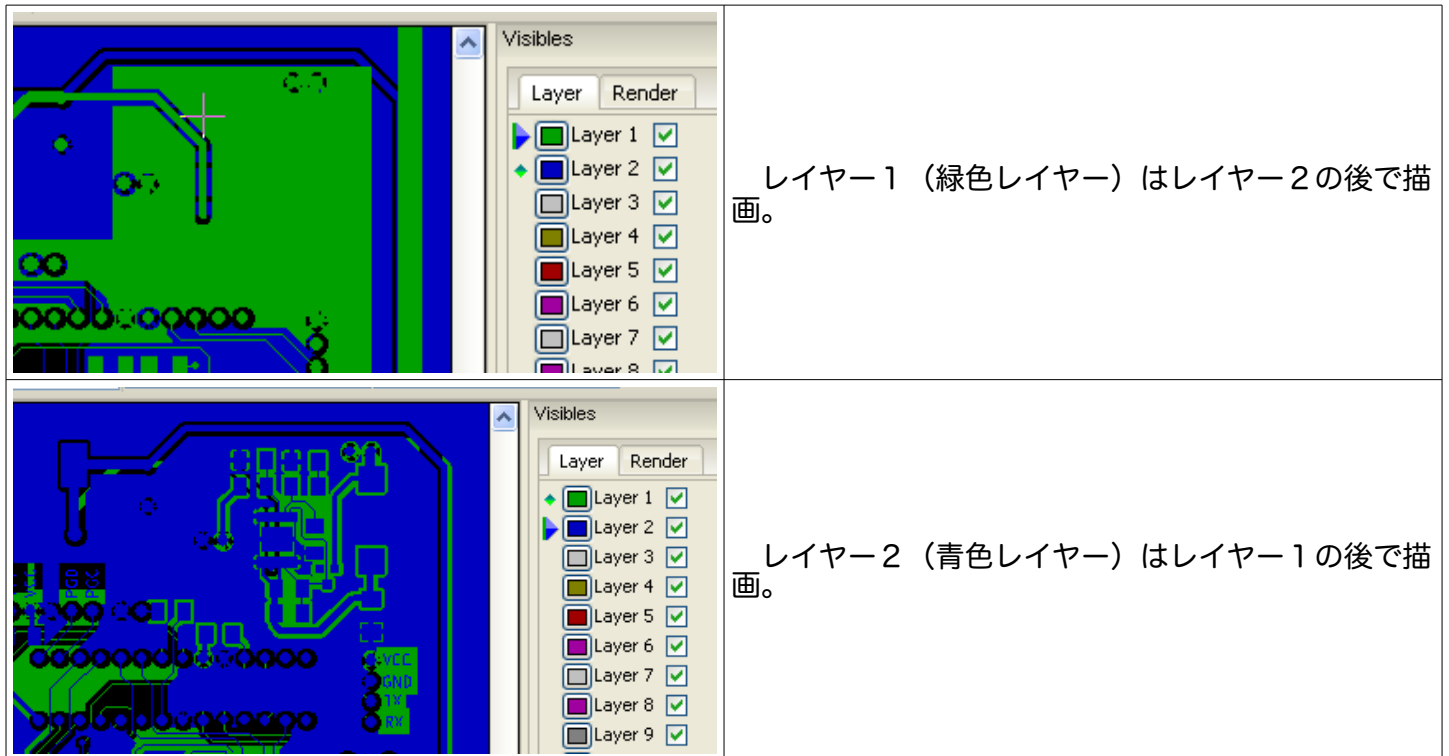
	<p>レイヤーマネージャは2つの目的を持っています:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アクティブレイヤーの選択 ・ レイヤーの表示/非表示 <p>アクティブレイヤーは最後に描画されます。</p> <p>新しいファイルをロードする際には、アクティブレイヤーが使用されます (新しいデータは以前のデータを置き換えます)。</p> <p>注記:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 線上でマウスを左クリック: アクティブレイヤーを選択 ・ レイヤーマネージャの上でマウスを右クリック: 全てのレイヤの表示/非表示切替 ・ アイコンの上でマウスを中央クリック: レイヤーの色を選択
--	---

1.4.3 - ガーバーレイヤーの表示モード:

	<p>Raw モード</p> <p>それぞれのガーバーファイルとアイテムはファイルが読み込まれた順に描画されます。</p> <p>しかし、アクティブレイヤーのみ最後に描画されます。</p> <p>ガーバーファイルに（黒で描かれる）ネガのアイテムがある場合、すでに描画されたレイヤー上に画像の乱れが生じます。</p>	
	<p>スタックモード</p> <p>それぞれのガーバーファイルは、ファイルが読み込まれた順に描画されます。</p> <p>アクティブレイヤのみ最後に描画されます。</p> <p>このモードでは、画面上に表示する前にローカル・バッファ内の各ファイルを描画するので、ガーバーファイルに（黒で描かれる）ネガのアイテムがある場合でも、すでに描画されたレイヤー上に画像の乱れは生じません。ネガのアイテムは、画像の乱れをおこしません。</p>	
	<p>透過モード</p>	


1.4.4 - 図面のレイヤー選択の効果:

この効果はraw モード、スタックモードでのみ有効です。




1.5 - レイヤーの印刷:

1.5.1 - プリントダイアログへのアクセス:

レイヤーを印刷するには、 ツール、あるいはメインメニュー (ファイル)を使用します。

1.5.2 - 注意:

印刷対象が、印刷範囲の中に含まれていることを確認すること（ により適切なページフォーマットを選択）。フォトプロッタがより大きな出図領域（プリンタで使われるページサイズより大きい）を使用することを忘れないこと。しばしば全てのレイヤーをブロック移動コマンドによって移動する必要があります。

1.5.3 - ブロック移動コマンド:

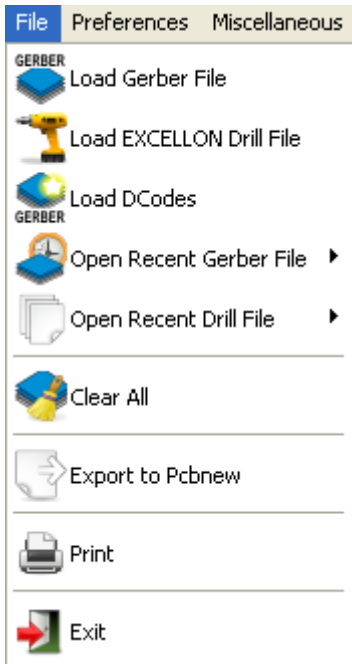
マウス左ボタンを押しながらドラッグし、画面上で選択したい範囲を選択することで、そこに含まれた対象を移動することができます。

現在選択され、移動中の領域は、左のボタンをクリックして 配置します。

1.6 - メニューバーのコマンド:

1.6.1 - ファイルメニュー:

GerbView



2つの特別なコマンドがあります。:

- Dコード読み込み。
- Pcbnewへエクスポート。

Dコードの読み込みは現在は廃止されています。それは、古いRS274 Dのガーバーファイルを使用する場合Dコードのファイル定義を読み込むのに使用されています。

残念ながら、Dコードのファイル定義は、標準フォーマットではありません。

1.6.2 - Pcbnewへのエクスポート

PcbnewへガーバーファイルをエクスポートするGerbViewの能力には限界があります。

最終結果はガーバーファイル内でRS 274 Xフォーマットがこういった形で使われているかによります。

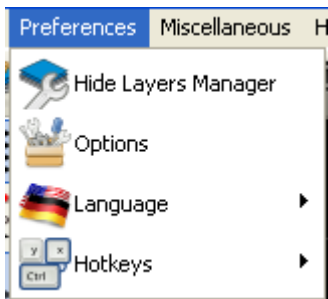
RS 274 Xフォーマットは、変換できないラスタ形式の特徴を持っています(主に全ての機能はネガのオブジェクトに依存しています)。

Flashed items はビアに変換されます。

Lines items はトラックセグメント、もしくは銅箔レイヤーではないレイヤーに線として変換されます。

そのため、変換されたファイルの扱いやすさは、PCBツールがガーバーファイルを作成した方法に大変依存します。

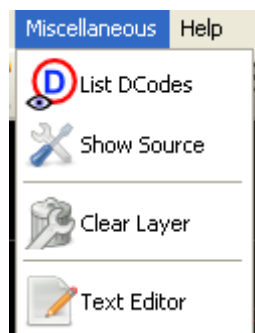
1.6.3 - 設定メニュー:



ホットキーエディターと表示項目のオプションへのアクセスを提供します。

1.6.4 - その他のメニュー:

GerbView



- Dコードのリストは、使用されているDコードとDコードパラメータを表示します。
- ソースの表示はテキストエディタにアクティブレイヤーとなっているガーバーファイルの内容を表示します。
- レイヤーのクリアはアクティブレイヤの内容を削除します。